嬉野
三雲

歳時記

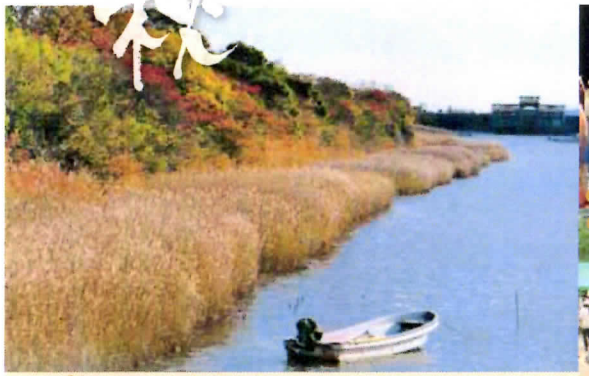
嬉野・三雲地域は、四季折々にさまざまな表情を見せてくれます。自然、風景をはじめ、祭り、神事など、日ごろ知られていない隠れたスポットが数多くあり、まちを歩けば、心潤す風景やできごとに出会うことができます。

❶【嬉野さくらまつり】嬉野の桜の名所の一つである中村川桜づつみで行われます。桜を見ながら屋台やダンス等のイベントを楽しめます。

❷潮干狩り/春から夏にかけて、雲出川河口に広がった遠浅の干主(ごぬし)海岸は多くの人々でにぎわいます。
❸ボタン/嬉野矢下(やおろし)町で、花言葉「王宮の風格」のとおり約200株の大輪が訪問者を魅了します。四月下旬頃から見ごろを迎えます。

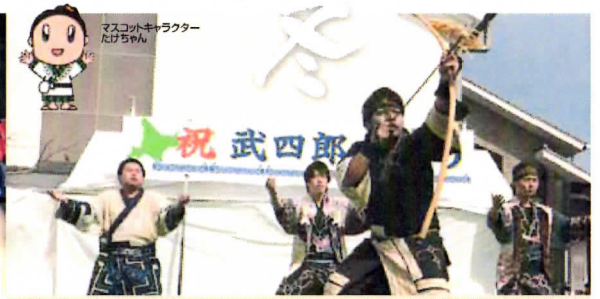
❶【嬉野おおきん祭り】嬉野最大の祭りであり、みこしやスペシャルステージ、屋台などイベントが盛りだくさんで迫力満点の花火がフィナーレを飾ります。

❷島田びわの収穫
❸みくもの七夕笹かざり/子どもたちに夢を与えるとともに、健やかな成長を願い、毎年7月7日(七夕の日)に甚目(はだめ)町にある県道雲出橋で行われています。
❹鵲(かささぎ)地区の虫送り/タイマツをたき、力強い太鼓踊りで今年の豊作を願って行われます。
❺笠松かんこ踊(おどり)/お盆に「かんこ」と呼ばれる袖太鼓を胸にドレドレ、数名の踊り子たちがたたきながら、先祖の霊を供養する行事です。



❶【碧川の黄紅葉(おうこうよう)】鵲と天白地区の境を流れる河川碧川周辺の堤では、夏にはハマボウ、秋にはモミジ、ウルシ、ハゼ等が黄紅葉し、燃えるような色が水面に映え、四季折々の撮影スポットとなっています。

❷津屋城でこさん/江戸時代、自然災害の板害に見舞われたとき、紀州藩松坂領の代官によって年貢米を全免にしてもらった経緯から、旧暦10月15日の満月の夜「でこさん=(代官の人形)」を清めたみこしを少年男子が担いで津屋城町内を巡回します。
❸嬉野字気郷まつり/豊かな自然に囲まれた嬉野字気郷地区で行われる手作りの祭りです。
❹うれしの天白縄文まつり/国史跡天白遺跡公園で行われ、古代音楽のステージ、地域交流市場や縄文人の生活が体験できます。
❺八田城山いきいきまつり/鎌倉時代の土豪(とごう)の城、八田城跡で行われる祭りです。



❶【武四郎まつり】松尾芭蕉、本居宣長をはじめ、三重県が生んだ偉人である北海道の名付け親「松浦武四郎」をたたえる祭りです。武四郎の生没月である2月の最終日曜日に松浦武四郎記念館(小野江町)で開催され、アイヌ古式舞踊や地域の物産展等が行われます。
❷おどろまいかコンテスト/寒さに負けない熱狂的なダンスが披露されます。
❸黒野獅子舞/元旦の縁起物で、各家々を回り、無病息災を祈ります。

4月　祈年祭(須加神社)
4月　嬉野さくらまつり(中村川桜づつみ)❶
4月　なめり湖桜まつり(なめり湖)
4～6月　潮干狩り(五主海岸)❷
7月7日　みくもの七夕笹かざり(県道雲出橋)❸
7月第一日曜　甚目(はだめ)虫送り(手力男神社)
7月　戸井殿供養(いどのくよう)(森本)
7月　曽原新田虫送り(曽原新田地区)
7月　虫送り(鵲地区)❹
7月下旬　嬉野おおきん祭り(嬉野地域振興局前駐車場)❶
8月7日　鵲(かささぎ)七夕まつり(鵲橋)
8月14日　新屋庄(にいのしょう)かんこおどり(称名寺)
8月14・15日　笠松かんこ踊(おどり)(松発寺・海運寺)❺
8月14・15日　曽原かんこ踊(おどり)(法性寺)

ハマボウ(碧川)

いちじく

ヤマユリ

9月上旬　不動明王会式大祭(小原)
10月10日　例祭(須加神社)
10月15日(旧暦)　津屋城でこさん(津屋城)❷
10月下旬　嬉野字気郷まつり(嬉野字気郷公民館前)❸
10月末　うれしの天白縄文まつり(天白遺跡公園)❹
10月末　八田城山いきいきまつり(八田城山公園)❺

1月1日　獅子舞(天白神社)
1月1日　黒野獅子舞(黒野)❸
1月上旬　善の綱(小原)
1月14・15日　どんど(宮古・平生・黒野)
2月初旬～中旬　おどろまいかコンテスト(嬉野ふるさと会館)❷
2月最終日曜日　武四郎まつり(松浦武四郎記念館)❶